

センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 まなびパークたじみ 4F TEL 23-3455 FAX 26-8813

指導日誌より

= 土岐地区 =

21 時過ぎに夏祭りの会場や周辺に残っていた児童生徒に帰宅するよう話しかけた。住宅敷地内で花火をしていた女子中学生数名に注意を促した。(夏特 7/26 下石 2)

花火大会の巡回で、西陵地区から来ていた子どもたちに、声かけだけでなく話すこともできた。昨年より落ち着いた感じだった。(夏特 7/27 妻木 3)

花火の後、セラトピア土岐玄関前に中学生が 15 ~ 16人。話を聞くと多治見市や市内でも泉や駄知など、いろいろな集まりになっていて驚いた。(夏特 7/27 泉 9)

「ごくろうさま」とあいさつしてくれる高校生がいて気持ち良かった。駅の階段に座って迎えを待つ中高生もいたが、すぐに帰った。(8/5 土岐津 1)

三起屋の従業員さんの話では、消火栓の一部を破損させた中高生がいたそうで警察に報告したとのこと。別の日には証明写真ボックスのカーテンが破られたとの話もあった。(8/6 泉 9)

盆おどりの後、子どもたちに一人にならないでみんなで帰るよう帰宅方法などの確認を行った。

(8/14 曾木 5)

・ライフパークで遊んでいた小学生に声かけ。夏休みの様子などを聞き、登校日に向けてはげました。(8/21 肥田 7)

・コンビニでアルバイトをしていた女子高生に声をかけ様子を聞いた。(8/29 駄知 6)

中学校の草刈り作業があり、親子での登校日でした。親と一緒にいたためか、はずかしさがあり声が小さい子がいた。(8/30 鶴里 4)

= 多治見地区 =

・銀座通りの祭りは、昨年と異なりビールを飲みながら歩く少年もおらず、来ている少年少女も少なかった。(夏特 7/16 養正 1)

小名田の祭りに来ていた小中学生に声かけ。楽しく過ごしていた。ほとんどが親と来ていたが、気を付けて帰るように話した。(夏特 7/21 共栄 3)

根本交流センターでのイベントは地域の方や中学生のボランティアが運営に関わってにぎやかでした。たくさんのお児童生徒が楽しそうに参加していました。(8/2 根本 10)

・祭りの余いんが残り、なかなか帰らない子どもがいたが、「会場が暗くなる」と話すとみんな帰っ

声かけ活動の結果

	8 月				夏休み夜間特別活動			
	多治見	瑞浪	土岐	合計	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導人数	0	0	0	0	0	1	0	1
声かけ人数	321	151	90	562	433	173	230	836
参加者数	57	36	29	122	68	36	39	143

ていった。(8/2 北栄 1)

JRひめ駅で多治見の花火大会から帰ってくる子どもたちや高校生に、気を付けて帰るようにと声かけをした。(8/3 南姫 9)

駅前タクシー乗り場前ですわり込みの男性 2人に声かけ。未成年ではないとのことだったが、すぐその場を移動してくれた。(8/20 池田 6)

駅前交番との情報交換で、16時 30分頃中学生 5～6名が自転車に音の出るラップを付けてブービーブービーと大きな音を出して駅前をまわる行為があったと聞いた。最近の「はやり行為」ということだった。(8/21 脇之島 12)

滝呂小体育館でアニメ映画が上映されていて、公園には人影がなかった。(夏特 8/22 滝呂 8)

= 瑞浪地区 =

水上祇園祭で巡回。昨年より人出が多く、山車とお囃子がメインで、大勢の子どもたちが参加しにぎやかでした。(夏特 7/26 陶 E)

夏祭りが開かれたこともあり、同窓会気分で雑談する高校生が多かった。タバコの気配もなく、早めに帰宅していた。(夏特 7/26 釜戸 G)

瑞浪インターへつながる道路のガード下(薬師町)はきれいに草が刈っており、安全な雰囲気を保たれていた。(8/1 明世 H)

コンビニ前で立ち食いをしている中学生に声をかけた。早く帰宅するように話をした。(8/7 稲津 F)

中京高校生の部活帰りに会う。どの生徒も大きな声であいさつをしてくれる。大変気持ちが良い。(8/11 土岐 C)

19時 20分頃、ピカリアの森へ懐中電灯をつけて入って行く父と子どもの 2人づれがいた。カブト虫を取りに来ていた。気を付けるように声をかけた。(8/18 日吉 J)

あやま あらた 過ちでは改むるに

はばか 憚ることなかれ



過ちを犯したことに気づいたら、すぐに改めるべきだということわざです。出典は『論語』。「過ちて改めざる、^{これ}是を過ちと謂う」という言葉もあります。

肝に銘じたい言葉ですが、失敗したことを隠したいと思うことや、^{めんつ}面子にこだわるのも避けがたいことですから、改めるのはなかなか難しいものです。そう言えば、「^{いさぎよ}潔い」という言葉も、あまり聞かれなくなったような気がします。

センターから

今年の夏は各地で豪雨がつづき、大きな被害が発生しました。自然の猛威を前に、「災害に備える」ことの重大さをあらためて実感させられました。被災された皆様に慎んでお見舞い申し上げます。

そんな天候が東濃地方でも続いたためか、8月はやむを得ず活動中止を余儀なくされた班もありましたが、そんな中でも7～8月の夏休み夜間特別活動には多くの指導員の方に参加いただきありがとうございました。通常の声かけ活動も含めてこの夏の活動結果からは、上記「指導日誌から」のように特に大きな問題は報告されておりません。ただ、見えないところに問題は隠されていることもあります。そのことを忘れないで声かけ活動を今後ともよろしくお願いします。

役員会のお知らせ

指導部役員会議	9/19
土岐地区班長会議	9/25
瑞浪地区班長会議	10/ 3
多治見地区班長会議	10/10

3 地区 合同 研修会

日時 平成 26 年 9 月 27 日 (土) 9 : 45 ~ 12 : 00

受付 (ホール前口ビー) 9 : 30

会場 土岐市「セラトピア土岐」2F 多目的小ホール

講演 「若者の心に届く声かけ活動」 講師 岐阜県精神保健福祉協会 西山史子先生

子ども・若者に積極的に関わってこられた先生です。PTAの方は子育ての参考にもなりますよ。

もうすぐですよ